



東京 ドキュメンタリー 映画祭 in OSAKA

Tokyo Documentary Film Festival in OSAKA

2023 2.25 SAT ▶ 3.3 FRI

シアターセブン

パンデミックを超えて
いま、ふたたび
祝祭のとき！

大阪限定のスペシャルプログラムも上映！投票で選ぶ「大阪観客賞」もあります



2018年にはじまった東京ドキュメンタリー映画祭。今年も「短・中編」「長編」「人類学・民俗映像」の各コンペティション公募作品に加え、暗黒舞踏などの特別上映、独自の文化が色濃く残るパプアニューギニア関連の作品などを上映しました。4回目となる大阪では、「東京ドキュメンタリー映画祭2022」の受賞作品を中心にお客様の支持を集めた作品をセレクトし上映するほか、大阪限定のスペシャルプログラムも開催。現代社会の生きづらさや先の戦争の傷あと、地域の暮らしや家族との葛藤などを粘り強く見つめた「最前線」のドキュメンタリー映像。その魅力を皆様と分かち合えれば幸いです。

金子遊・佐藤寛朗（プログラム・ディレクター）

長編部門コンペティション

長編・短編部門のコンペティション上映作品は、お客様の投票による「大阪観客賞」の対象となります



1 標的

2.25[土] 10:00-
3.2[木] 14:15-

朝日新聞記者・植村隆は1991年8月、元慰安婦だった女性の証言をスクープ。それから23年後、記事は植村の捏造だとするバッシングが右派の論客から始まる。その背景には慰安婦問題を歴史から消し去ろうとする国家の思惑があった。圧力をかけられながらも、立ち上げる植村と市民たちの姿を通し、日本の「負の歴史」の深淵に迫る。

監督=西嶋真司/2021年/99分



2 マエルストロム

2.25[土] 14:45-

2002年、ニューヨークの美大を卒業したばかりの“私”は、突然事故に遭い、帰国を余儀なくされる。障害を負い、大混乱（マエルストロム）の日々の中で、やがて“私”は、それまでとは全く変わった日常の記録を始める。家族との葛藤や、事故前求めていたアートとの繋がり…。様々な別れと出会いを経ながら、自身が着実に再生してゆく過程を記録した、魂のセルフ・ポートレート。

監督=山岡瑞子/2022年/79分



3 ペーパー・シティ

2.26[日] 10:00-

1945年3月10日未明、米軍の無差別爆撃により10万人以上の死者を出した東京大空襲。その事実には驚いたオーストラリア人監督が、証言の記録にとどまらず、生存者たちの反戦への思いが、2015年の安保法制への反対行動につながる様を描く。

監督=エイドリアン・フランシス/2021年/80分

長編部門コンペティション 観客賞



4 そしてイスラの土となる ～日系キューバ移民の記録

2.26[日] 11:55-

1910年代、サトウキビ農園労働者として多くの日本人がキューバへと渡った。移民たちは、戦時中の強制収容、キューバ革命などをのりこえ、激動の20世紀を懸命に生き抜いていく。「最後の日系キューバ移民一世」といわれた島津三一郎や日系二世らが、異郷の島（イスラ）から故郷日本への思いを語る。

監督=鈴木伊織/2021年/80分



5 霧が晴れるとき

2.26[日] 13:50-
3.3[金] 12:30-

第2次世界大戦中、死者6000人を超える激戦でありながら、戦後は忘れ去られたアリュシャン列島アッツ島・キスカ島の戦い。日米の遺族や島の先住民アリュート人にとって、この戦いはどんな意味を持つのか。残骸の眠る現地訪問や、奇跡的な交流を通してみえてきた“終わらない物語”を、10年の歳月をかけて描く。ナレーションは長谷川博己。

監督=小川典/2020年/80分

長編部門コンペティション 準グランプリ



6 アダミアニ 祈りの谷

2.26[日] 15:45-
3.3[金] 14:25-

チェチェン紛争で「テロリストの巢窟」と汚名を着せられたジョージア東部・パンキシ渓谷で暮らす、キストと呼ばれるイスラム教徒の人々を3年間に渡り記録した作品。美しいコーカサスの山々を背景に、二人の息子をイスラム国に取られ喪った母親や、そのいとこの元戦士など、心に傷を抱えながらも故郷を復興させようと懸命に生きる姿を描く。

監督=竹岡寛俊/2021年/120分

長編部門コンペティション グランプリ



7 オーディナリー・ライフ

2.27【月】 12:30-

大阪芸大の卒業制作でもある本作は、中国に暮らす視覚障害者の男性2人の音楽ユニット、ズーウェイとアジェの、それぞれのパートナーとの普通の生活を追う。二組のカップルの微笑ましくも羨ましく感じさせる暮らしぶりが、観る者にコロナ禍以降の生活に必要なコミュニケーションとは何かを教えてくれる。

監督=魏鵬鶴(ギ・ホウカク) / 2021年 / 75分

※上映後、関係者トーク 秦岳志(映画編集) × 長岡野亜(映画監督)



8 ポラン

2.28【火】 10:00-

2021年2月、東京都・大泉学園の古書店「ポラン書房」が惜しまれつつ閉店した。カメラは開店からの軌跡、刻々と迫る閉店までの日々と店舗の解体、閉店後の店主たちの足取りを追う。その過程で、さまざまな物語を引き付けていた「磁場」としてのポランの魅力が浮かび上がり、閉店の悲しみはありつつも、鑑賞後は不思議なあたたかさを覚える。

監督=中村洸太 / 2022年 / 74分



9 目の見えない白鳥さん、アートを見にいく

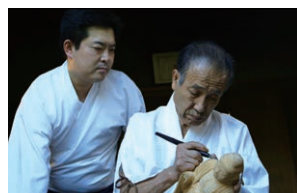
2.28【火】 14:30-

*特別先行上映

©ALPS PICTURES

全盲の白鳥建二さんの趣味はアート鑑賞。「全盲でもアートを見ることはできるのかも」と美術館を訪れるうちに、いつの間にか「自由な会話によるアート鑑賞」という独自の方法を編み出した。アートを巡り旅をする白鳥さん。彼の姿に、偶然の出逢いがもたらす可能性と、アートが持つ力を見出すことができるだろう。

監督=三好大輔、川内育緒 / 2022年 / 107分



10 カービング・ザ・ディバイン 仏師

3.2【木】 10:00-

仏師・関伏雲の元に弟子入りを志願する者がやってくる。19歳で仏師の道に入った伏雲は、この道の扉を叩いた者たちに、その心構えと技術を伝えていく。厳しい修行のもと、造りだされる仏像たち。知られざる仏師の世界を切り取ったドキュメンタリー。

監督=関勇二郎 / 2021年 / 98分



11 DAYS

3.2【木】 16:30-

摂食障害をテーマに作品を撮り続ける監督と、21歳で摂食障害に悩むミキさん。ふたりが5日間をミキさんの部屋で過ごし、摂食障害の現実を知ってもらうため、過食、嘔吐、身体の変容など彼女に起きるできごとを記録する。母との愛憎、高校のバスケットと不登校、自殺未遂の過去…。彼女が漏らす言葉に真実の輝きがある。

監督=藤本純矢、末紀 / 2022年 / 120分

短編部門コンペティション

長編・短編部門のコンペティション上映作品は、お客様の投票による「大阪観客賞」の対象となります



1 短編セレクション1 受賞作品特集

2.25【土】 12:15-

3.3【金】 10:00-

母の末期ガンを宣告された監督が、AIの友人「ジェームズ」との会話で自らの気持ちを表現する『火曜日のジェームズ』。呉服屋の二代目が、幼き日に経験した東京大空襲の記憶を語る『遺言』。韓国の従軍慰安婦問題に触発され、故国バングラディッシュで暮らす『ピランガナ』(独立戦争の性被害者)の訴えを記録した『待ちのぞむ』の3本を上映。

『火曜日のジェームズ』監督=ディーター・デズワルデ / 日本語版2021年 / 24分

短編部門コンペティション グランプリ

『遺言』〜呉服店二代目が七十六年、思い続けること〜監督=清水亮司 / 2022年 / 28分

短編部門コンペティション 観客賞

『待ちのぞむ』監督=セ・アル・マムン / 2021年 / 60分

短編部門コンペティション 準グランプリ



2 短編セレクション2 小さな声の抵抗

2.27【月】 10:00-

サケを捕獲する“先住権”を求めて立ち上がるアイヌの人々を描く『サーモンピープル』。震災と原発事故から11年、苦労を振り返りながらも前を向く住民の声を集めた『福島からのメッセージ』。自衛隊ミサイル基地建設に反対しながらも、(ハルサー)農民として独自の生き方を模索する石垣島の青年たちを追った『若きハルサーたちの唄』。流動化する社会で、土地に根づいて生きる人々の姿をとらえた3本。

『サーモンピープル 〜アイヌ“先住権”を求めて〜』監督=寺田和弘 / 2021年 / 24分

『福島からのメッセージ』〜それでも、私たちはここで生きていく〜

監督=蟹江節子 / 2022年 / 28分

『島がミサイル基地になるのか 若きハルサーたちの唄』

監督=湯本雅典 / 2021年 / 60分



3 短編セレクション3

2.28[火] 11:50-

歌を失いかけた音楽家・太田美帆の日常を見つめる『DAY』、仙台のバンド「yumbo」から生まれる音と生活を撮った『ロッツ・オブ・パース』。ガーナ人の両親を持ち日本で育った馬瓜エプリング、バスケットボール女子日本代表として銀メダルを獲得するまでの13年に密着した『東京の日の丸』。困難を切りひらく人間のそばに必要なものを考える3本。

『DAY』 監督＝井手内創／2022年／17分
『ロッツ・オブ・パース』 監督＝福原悠介／2021年／45分
『メーテレドキュメント東京の日の丸』 監督＝村瀬史憲、服部倫子／2021年／60分



4 短編セレクション4

3.2[木] 12:15-

鳥取県の山奥に暮らす老夫の生活や、人生の歩みを記録した波田野州平の『私はおぼえている：竹部輝夫さんと中津の記憶』と、寂れゆく故郷を盛り上げようと、北海道でアマチュアプロレス集団を立ちあげたサムソン宮本の奮闘と闘病を描く『無理しないケガしない明日も仕事～新根室プロレス物語～』。対象的な2本からみる、ひとの“人生”。

『私はおぼえている：竹部輝夫さんと中津の記憶』 監督＝波田野州平／2021年／37分
『無理しないケガしない明日も仕事～新根室プロレス物語～』 監督＝湊寛、堀威／2021年／45分
短編部門コンペティション アジアンドキュメンタリーズ賞

人類学・民俗映像部門コンペティション



1 それでも獅子は旅を続ける

～山本源太夫社中 伊勢大神楽日誌～
3.1[水] 10:00-

近畿や北陸を旅してまわる伊勢大神楽。400年続くという旅の1年を記録。家々を訪ね、獅子舞で祓い、放下芸と呼ばれる芸能をして人々の幸福を願う。コロナ禍にも人々との交流が紡がれる。民族音楽学を専門とする作者と大神楽の人々の信頼関係を土台として紡がれた映像民俗誌。作者自身による語りやイラストも瑞々しい。

監督＝神野知恵、山中由里子／2022年／89分



2 シャーマンと芸能者 (人類学短編集)

3.1[水] 12:05-

エチオピアで弦楽器マシンコを弾き語るアズマリが、即興的な場をたちあげる様をワンショットで撮った『吟遊詩人』。タンザニアの村で、痙攣する病気になった子どもを呪術の力で治療する『呪術師の治療』。ウズベキスタンのアニミズム的な交霊術と、イスラームが融合した儀礼を記録する『交霊とイスラーム』の最新作3本。

『吟遊詩人 -声の饗宴-』 監督＝川瀬慈／2022年／17分
人類学・民俗映像部門コンペティション 準グランプリ
『呪術師の治療 -タンザニア』 監督＝松永由佳／2022年／25分
『交霊とイスラーム：バフシの伝えるユーラシアの遺習』
監督＝和崎聖日、アドハム・アシーロフ／2022年／37分



3 祝祭のかがやき

3.1[水] 14:00-

シチリア島において農民、漁民、カソリック教会が数ヶ月かけて準備し、古代から続く伝統が情熱的に表現される祝祭の数々。その模様を、ナレーションやインタビューを排したダイレクト・シネマの手法で見つめる実験的民族誌の傑作『ミステリーズ』。文様に注目してバリ島の祭儀を記録した短編『チュブック』を併映。

『ミステリーズ』 監督＝ダニエル・グレコ、マウロ・マゲリ／2022年／71分
『チュブック-イカット文様に宿る魔除けの力』
監督＝TAMA MON 22-多摩美術大学文様研究プロジェクト、深津裕子／2017年／12分



4 ウミ「芸能の村」

3.1[水] 16:10-

本作はスイス作家の視点から沖縄の芸能を伝承する人々の誇りや生き様、葛藤を描いている。人口減少の危機の中で活動を継続し、琉球舞踊や三線とそれを取り巻く人々を描くことで、21世紀のこの地の芸能や風俗の現在形を記録する。美しい映像を通じ、初心者から愛好家まで入りやすく学べる語り口をもつ。

監督＝ダニエル・ロベス／2022年／75分
人類学・民俗映像部門コンペティション グランプリ (宮本馨太郎賞)

特別上映



1 ワタシタチハ ニンゲンド!

2.27[月] 14:25

2021年春、名古屋入管でスリランカ人女性のウシシュマさんが33歳の若さで死亡した事件がメディアに衝撃を与えたことは記憶に新しい。戦時中に行われた朝鮮人の同化政策、戦禍に巻き込まれた在日朝鮮人の生活権利を巡る闘争、外国人技能実習生の環境や難民に対する入管の対応などに問題の根を伸ばして描く、日本の不寛容と未来を問う人々の姿を見つめる作品。

監督＝高賛侑 (コウ・チャニュー) / 2022年 / 114分



2 暗黒舞踏の世界

2.28[火] 16:55

戦後日本から羽ばたいた芸術ジャンルの「舞踏」を再発見してみよう。『藤原 - Fujiwara』は国内外で活躍するダンサー木村由が限界集落の記憶と寄り添う舞を楽しめる。土方巽の妻であった舞踏家を映した『元藤舞踏記録映画』では、秋田や恐山での作品からマニア必見のその稽古場面まで、このジャンルの原点を丸ごとみたい。

『藤原 - Fujiwara』監督＝細田廣臣 / 2022年 / 21分
『元藤舞踏記録映画』監督＝猪鼻秀一 / 2022年 / 73分

特集 パプアニューギニア



『クラ —西太平洋の遠洋航海者』 『ギサロ』

3.3[金] 17:00-

人類学者マリノフスキーの著書で知られる、ニューギニア島のトロブリアンド諸島におけるクラ交易。カヌーに乗り、風を頼りに島々を渡りながら、貝殻でつくられた首飾りと腕輪を交易する人びとの姿をカメラにおさめた奇跡の1本。同島のカルリ族が着飾って歌合戦をし、歌手にヤケドを刻む儀礼を撮った『ギサロ』を併映。

『クラ - 西太平洋の遠洋航海者』
監督＝市岡康子 / プロデューサー＝牛山純一 / 1971年 / 67分
『ギサロ』 監督＝市岡康子 / 1987年 / 50分

大阪スペシャル

「東京ドキュメンタリー in OSAKA」のみで上映するスペシャルプログラム。ゲストトーク付き。



1 AKAI

2.25[土] 16:40-

現在は俳優・タレントとして活躍する赤井英和は、かつて「浪速のロッキー」と呼ばれた天才ボクサーだった。赤井が主演した自伝的映画『どついたるねん』（監督＝阪本順治 / 1989年）や「ブルース・カーリー戦」や「大和田正春戦」など迫力の試合映像、貴重なインタビューを通して、息子の赤井英五郎が父親の“伝説”に迫る。

監督＝赤井英五郎 / 2022年 / 88分
※上映後トーク 赤井英五郎×阪本順治



2 知られざる 「在日」の記録

2.27[月] 16:55-

日本最大のコリアンタウン・大阪府鶴橋に遺された『鶴橋本通り「キョンチャルアパート」』や、太平洋戦争末期に朝鮮人労働者や強制連行者の手で作られた、奈良県の『奈良「どんづる峯と柳本飛行場」』。京都府宇治市のウトロ地区に住む一家を中心に、文化を守り生きる人々の日常を描いた『ウトロ 家族の街』。遺構や暮らしの貴重な記録から「在日」の歴史と現在を照射する。

『鶴橋本通り「キョンチャルアパート」』
撮影＝高仁鳳 金穂万 編集＝金穂万 2022年 / 11分
『奈良「どんづる峯と柳本飛行場」』撮影・編集＝金穂万 2022年 / 34分
『ウトロ 家族の街』監督＝武田倫和 / 総指揮：原一男 2002年 / 58分
※上映後トーク 金穂万×武田倫和

TIME TABLE

2023 2.25 SAT ▶ 3.3 FRI

2/25 [土]	10:00 長編1 標的 (99分)	12:15 短編1 短編セレクション1 (受賞作品特集) (112分)	14:45 長編2 マエルストロム (79分)	16:40 大阪スペシャル1 AKAI トーク：赤井英五郎×阪本順治 (88分)
2/26 [日]	10:00 長編3 ペーパー・シティ (80分)	11:55 長編4 そしてイスラの土となる ～日系キューバ移民の記録 (80分)	13:50 長編5 霧が晴れるとき (80分)	15:45 長編6 アダミアニ 祈りの谷 (120分)
2/27 [月]	10:00 短編2 短編セレクション2 (小さき声の抵抗) (112分)	12:30 長編7 オーディナリー・ライフ トーク：秦岳志×長岡野亜 (75分)	14:25 特別1 ワタシタチハニンゲンダ！ (114分)	16:55 大阪スペシャル2 知られざる「在日」の記録 トーク：金稔万×武田倫和 (103分)
2/28 [火]	10:00 長編8 ポラン (74分)	11:50 短編3 短編セレクション3 (122分)	14:30 長編9 目の見えない白鳥さん、 アートを见にいく (107分)	16:55 特別2 暗黒舞踏の世界 (93分)
3/1 [水]	10:00 人類学・民俗映像1 それでも獅子は旅を続ける (89分)	12:05 人類学・民俗映像2 シャーマンと芸能者 (人類学短編集) (79分)	14:00 人類学・民俗映像3 祝祭のかかがやき (93分)	16:10 人類学・民俗映像4 ウムイ「芸能の村」 (75分)
3/2 [木]	10:00 長編10 カーピング・ザ・ディバイン 仏師 (98分)	12:15 短編4 短編セレクション4 (82分)	14:15 長編1 標的 (99分)	16:30 長編11 DAYS (120分)
3/3 [金]	10:00 短編1 短編セレクション1 (受賞作品特集) (112分)	12:30 長編5 霧が晴れるとき (80分)	14:25 長編6 アダミアニ 祈りの谷 (120分)	17:00 特集 クラ-西太平洋の遠洋航海者 ギサロ (117分) 上映後 大阪観客賞授賞式(入場無料)

各回、監督による
舞台あいさつを予定！

詳細は公式サイトや
SNSでご確認ください

【映画祭事務局】

プログラマー：金子遊 佐藤寛朗 澤山恵次 若林良
吉田悠樹彦 津留崎麻子 田淵絵美 井河澤智子
顧問：矢田部吉彦
人類学・民俗映像部門予備審査員：山上亜紀 遠藤協 金子遊
メインビジュアル、フライヤーデザイン：三好遥
フライヤー編集協力：菊井崇史
WEBデザイン：古谷里美
主催：neoneo編集室
後援：一般財団法人 宮本記念財団
協賛：アジアドキュメンタリーズ、エトノスシネマ
助成：芸術文化振興基金

公式サイト：<https://tdff-neoneo.com/osaka/>

ツイッター：@TDFF_neoneo

インスタグラム：tdff.neoneo

フェイスブック：tdff.neoneo

主催：東京ドキュメンタリー映画祭事務局(neoneo編集室)

問合せメール：tdff.neoneo@gmail.com



東京ドキュメンタリー映画祭2023 今冬も新宿ケイズシネマで開催！

【料金(すべて税込み価格)】

一般1,300円/シニア1,200円

ファーストデー(3/1)1,200円/学生1,000円

小学生以下700円/会員1,000円

【お得な特別鑑賞券】

3回券 3,300円(劇場窓口でのみ販売)

※ご鑑賞日の7日前の9:00から上映開始60分前まで、
オンラインでチケットがご購入いただけます
劇場窓口販売：ご鑑賞日の7日前の劇場開館時間より

大阪市淀川区十三本町1丁目サンボードシティ5F

Theater
Seven
06-4862-7733
theater-seven.com

